

第二回企業活性化研究分科会・議事録

<第二回 2007年7月28日 時間：13：30～17：00 於：専修大学(神田校舎)7号館>

1. 参加者：太田、山本、井端、大野、飯高、渡邊、大柳、横山、星野、小島、魚谷

2. テーマ：継続企業概念に関する論文の検討 No.1

3. 討議内容

3.1 上村久雄著「継続企業概念に関する一考察」について

・報告者：菅原智久(専修大学大学院)

・配布資料：レジュメ3枚

・報告内容

本論文に基づき、会計公準(会計の基本前提)の一つとして認識されている継続企業概念について、その生成過程及び会計の諸原則との関係並びに貨幣価値安定公準との比較において、この概念が会計上どのような意味を持つのかを報告をした。

➤継続企業概念の生成過程と損益計算制度について

➤継続企業概念に立脚した会計原則について

➤貨幣価値安定公準との比較について

3.2 峯村信吉著「会計理論の収益性概念と継続企業概念」について

・報告者：宮川宏(専修大学大学院)

・配布資料：レジュメ2枚

・報告内容

峯村先生によって執筆された「会計理論の収益性概念と継続企業概念」についての論文を簡潔にまとめた。本論文において会計理論の基本概念は、収益性概念と継続企業概念の二つがあるとされている。それぞれの概念について、固定資産との関係及び収益率という視点から報告をした。

➤それぞれの概念及び企業会計の目的と関係について

➤収益性の測定と収益率について

➤継続企業概念と継続企業価値について

➤継続企業概念、収益性の測定と継続的生産活動について

➤割引率と収益性について

3.3 十川広国著「コモنزの「企業理論」について-ゴーイング・コンサーン論を中心として-」について

- ・報告者：山本洋信
- ・配布資料：レジュメ3枚
- ・報告内容

本論文に基づき、まずコモنز理論の概括的基本概念を説明し、続いて「企業理論」に限定しゴーイング・コンサーン論に焦点を合わせつつ本質を探るため、グッドウィル論から吟味しゴーイング・コンサーン論について報告をした。

- コモنز理論の基本的概念について
- コモنزの「企業理論」について
- コモنزの「企業理論」の要約・検討について

3.4 武智著「継続企業概念の検討」について

- ・報告者：飯高成美
- ・配布資料：レジュメ3枚
- ・報告内容

武智先生によって執筆された「継続企業概念の検討」についての論文を簡潔にまとめた。本論文に基づき、1950年後半から1960年代の会計理論を展開した研究者の批判・検討を紹介し、継続企業概念が会計における基本的前提になり得るとすれば、一体いかなる意味において可能であるかについて報告をした。

- 継続企業概念の発生、冒険企業から定着企業への変遷
- ギルマン、ペイトン、リトルトン、ムーニッツ、スターリング、ユーの継続企業概念についての見解
- 会計の基本前提である継続企業概念の明確化のための意味や必要性

4. その他

年内の研究会の日程について決定しました。

(文責：菅原智久 宮川宏)